

幕張新都心モビリティコンソーシアム MaaSプラットフォームPT
(第2回) 議事要旨

時間： 2022年10月19日(木) 9:00~11:00
場所： オンライン開催
出席： 小田急電鉄株式会社
京成バス株式会社
イオンモール株式会社
株式会社NTTドコモ千葉支店
株式会社千葉ステーションビル
株式会社日立製作所千葉支店
東日本旅客鉄道株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
シャープ株式会社
株式会社幕張メッセ
株式会社建設技術研究所
株式会社ヴァル研究所
京成電鉄株式会社
株式会社JTBコミュニケーションデザイン
長谷川工業株式会社
一般社団法人千葉県タクシー協会
公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー
千葉市
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

以上 (順不同)

議題

- (1) 第1回 MaaSプラットフォームPTの振り返り
- (2) MaaS認知獲得施策の検討
 - ア. 認知獲得施策の絞り込みの共有
 - イ. MaaS認知獲得施策の検討(グループワーク)
- (3) MaaSを活用した集客施策の検討
 - ア. 今年度の実証実験の進捗共有(幕張新都心版 MaaSにおける事業化の課題)
 - イ. MaaSを活用した集客施策の検討(グループワーク)

配布資料

資料1 第2回 MaaS プラットフォーム PT

資料2 22年度幕張新都心版 MaaS 実証実験進捗共有

議事内容

1. 開会

2. 議題

(1) 第1回 MaaS プラットフォーム PT の振り返り

- 千葉市より資料1に沿って説明。
- 第1回 PT のグループワークでは、今年度の実証実験の課題について、以下4つのテーマごとにアイデア出しを行った。
 - 幕張エリア内でのサービス認知(住民向け)
 - 来訪者のポジティブな感情として、移動の快適性や乗り捨てなどの利便性が挙げられた。
 - 来訪者のネガティブな感情として、そもそもの認知不足や利用への不安感・心理的ハードルの高さ、ユーザビリティの低さが挙げられた。
 - 検証項目として、主に広報・PR、料金設定、サービス機能、心理的不安の解消等が挙げられた。
 - 幕張エリア外へのサービス認知(来訪者向け)
 - 主に、モビリティの種類やモビリティステーションの広報・PR、利用者のニーズ・利便性、安全面等のリスク・課題対策、環境配慮・エネルギーに関するものが挙げられた。
 - 目的想起のためのイベント・施設情報の配信(住民・来訪者)
 - 移動のためのモビリティ連携(住民・来訪者)

(2) MaaS 認知獲得施策の検討

- ア. 認知獲得施策の絞り込みの共有
 - デロイト トーマツ コンサルティング合同会社より資料1に沿って説明。
- イ. MaaS 認知獲得施策の検討(グループワーク)
 - テーマ：MaaS 認知獲得施策に関するアイデアの洗い出し
 - ワークシートを活用したグループワークを実施。

(3) MaaS を活用した集客施策の検討

- ア. 今年度の実証実験の進捗共有(幕張新都心版 MaaS における事業化の課題)
 - 株式会社 NTT ドコモより資料2に沿って説明。
- イ. MaaS を活用した集客施策の検討 (グループワーク)

テーマ：今年度実証を踏まえ、MaaS を活用した集客施策に関するアイデアの洗い出し

- ワークシートを活用したグループワークを実施。

3. 連絡事項

- 事務局より、第2回モビリティ WG・横連携 WG(兼中間まとめ報告会)が10月25日(火)10時~12時に開催される旨説明。
- 事務局より、今後も Slack における積極的なコミュニケーションを行っていく旨説明。

4. 閉会

以上